

NK-6 Symphony

NK-6 シンフォニー

杖と義足で世界をまわる。
だから安全、安心を一番に考える。
特に坂道の下りで安心と感じる。
バドミントンをする。
庭の手入れでハシゴに登る。
始めは本当に落ち込んだ。
いまでは“千里の道も一歩から”と
ゆっくりでも目的に向かって進む。

高感度のバウンス機能は凍結路面など
力強く踏み込めない場面でも瞬時に機能し、
膝折れを防止します。
また強風や積雪など膝を固定したい場面では
セレクトブロックにより固定膝として使用できます。
雪国でも安心して使用できる膝継手です。

NK-6 Symphony

瞬時に膝折れを防止するバウンディング機能と振出しが軽い油圧シリンダシステムをもった新しい膝継手です。Symphony（シンフォニー）は音楽用語で音と音をなめらかにつなげる意味があり、歩行中の立脚相と遊脚相をなめらかにつなげる意味を込めて名付けました。



型式: NK-6+L
 屈曲角: 最大170度
 体重制限: 125kg
(この仕様はお断りなく変更する場合があります)



p-MRSシステム
 (Polycentric - Mechanism of Reaction force Sensing)

1 立脚相制御

▼バウンディング機能

踵を力強く接地できない凍結路面でも機能するように、踵が接地した瞬間に機械的ロックがかかり、膝折れを防止します。また踵接地時に膝継手が少し曲る（屈曲）ことで、地面からの衝撃を吸収し、快適な歩行が可能となります。（最大10度の曲り）

▼P-MRSシステム

床から伝わる力（床反力）を検知してバウンディング機能を制御するシステムです。リンク機構でセンシングポイントを設置し、床からの力（床反力）がセンシングポイントより踵側だと立脚相制御が作動します。

また床反力がセンシングポイントよりつま先側だと立脚相制御が解除されます。このシステムは力の大小ではなく、位置によって判別するので小さな力でも正確に作動し、立脚相と遊脚相をなめらかにつなげます。

▼セレクトティブロック機構

遊動膝と固定膝をいつでも選択できます。遊動膝で不安を感じる積雪、強風、不整地という場面において膝を固定（ロック）することで膝折れを防止できます。また立ち仕事や、ハシゴや脚立での作業、ゴルフのスイング時にロックすると便利です。

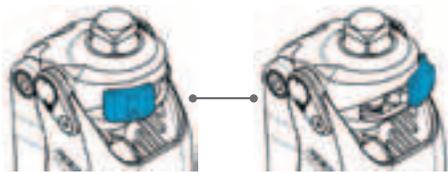
2 遊脚相制御

▼油圧シリンダシステム

従来の油圧シリンダでは振出しは重く、疲れやすいものでしたが、特殊技術による油圧シリンダシステムは空圧シリンダのような歩きやすい振出しを可能としました。また小さい容積でも高い出力を制御できる油圧シリンダにより製品のコンパクト化を実現しました。

▼伸展補助バネ

立位時での膝折れは膝が伸びきっていないことが原因の1つです。この伸展補助バネは膝が伸びた状態を保持することができるので、活動レベルが低い方でも安心して使用できます。



遊動膝 (セレクトティブロック解除状態) 固定膝 (セレクトティブロック状態)



NK-6

Symphony interview

NK-6 シンフォニー
インタビュー



□スマイル
義足と杖で世界一周するのが夢なんです。10年ほど前に事故で足を失くしたんですけれどね。会社は商社でしたから、結構海外出張をしてたんですよ。しかし出張もできなくなっちゃって、もう、本当に落ち込んでしまっただけ。最初のころはこんなもので歩けるもんじゃなかったって、ほんと怖くて義足を放り出したことがありますよ。でもこれでは……と思って、わざと1人で旅行会社に相談しに行っただけです。義足で試してみたいと思って、ポルトガルへ8日間行っただけです。それで自信ができました。今では本当に義足さまでです。

□千里の道も一歩から
いままで五体満足だったのが、足がなくなっちゃって、すてーんと気持ちが悪く落ちてしまっただけ、もう落ちることはないなというところまでいったんです。だけど、千里の道も一歩から。義足でもこつこつ、ゆっくりに達すると。今からは亀か蟻だに。ただこつこつやればできると。義足になっても世界に出る、庭に上がる。自分が不自由なところは道具を使えばなんとかなりますよ。知

恵と工夫があれば楽しい人生が送れる。いまそれを実感しています。

□旅のコツ
クルージングは障がい者にやさしいっていうんです。そこで試してみたら、毎日部屋が一緒なので楽なんです。自分の部屋が次の港、次の国へと行ってくれるのは、荷物の余計な移動もなく、私には本当にぴったりでした。昔はクルージングっていうと高価なイメージですけど、いまはそうでもないですよ。現地まで飛行機で移動して、そのあと船で各地を回るフライ&クルーズってのがありますよ。

□なんかこう安心って
(ハウジング機能)
以前より杖を使わなくなりましたね。なんかこう安心って感じがするんですよ。とくに坂道の下りがいいですね。膝折れは簡単にはしないなっていう感じがありますね。

□心地良いクッション
(ハウジング機能)
アスファルトの上を歩いても、まるで芝生の上を歩いているような心地良いクッションがありますね。

□よく動くって
感心しています
(油圧シリンダシステム)
今度の義足はいいですよ。杖を使わないですからね。私よりどんどん早く進んじやうけど。御稽古事もいろいろやっていますし一日中ホント良く動いて感心していますよ。こんなに元気になるのは夢にも思わなかったですよ。(奥様より)

□ロックは楽ですね
(セレクトタイプロック機構)
生まれが鹿児島出身の百姓育ちなんです。だから怪我する前は畑を借りて三百坪ぐらいの家庭菜園を手広くやりました。義足になっちゃってからは、なにも思わなくて。でもちよつとぐらいたって、鉢植えをイスに腰掛けながらやりましたね。今では庭が狭いから鉄骨で台を作って、その上から庭(畑)を作って栽培をしています。そこでナスとかピーマンとかを育ててるんですよ。だからいつも上がったり、下ったりしています。脚立やはしごでは上りは問題ないですが、下りは膝が勝手に動く大変なんです。そこでこのセレクトタイプロックをつかって膝を固定します。とても安心で楽なんです。

□バドミントン
バドミントンは全然知らなかったんですよ。けど、近所の障がい者用プールで同じ義足の方に出会って、そして義足の話したら、ちょうど偶然、同じ担当の義肢装具士さんだったんですよ。それから意気投合して、義足お友達で付き合っているんですよ。それから紹介されてバドミントンを始めました。今では体を動かすのはバドミントンが水泳ですよ。



右大腿部切断で大腿義足を使用
膝継手/NK-6+L シンフォニー
(セレクトタイプロック付)
足部/フリーダムフット
(セネター V S I 0 0 0)



NK-6

NK-6 シンフォニー
インタビュー

Symphony interview

相当落ち込んだ。

けどできること

できないことを数えたら

圧倒的にできることが

多かった

ホツとした。

□何ができるか考える
もともとあったものが無くなってしまったんだから、その時はもちろん、相当落ち込んでしまった。ある時から、無くなったものは仕方がない、何ができるか考えようと思っただ。先生から「義足を履けば、杖なしで歩けるよ」と言われたし、それが救いだっただよ。

□できることのほうが多い
気持ちや前向きになってからはできること、できないことを考えた。できないことより、足が無くてもできることの方が圧倒的に多かったから、ホツとした。

例えば作業車、改造すれば乗れるじゃん、みたいな。けど家の中をバリアフリーに改造しようという話があったけど、病院中では階段も昇り降りできたから、必要ないじゃんって思ったね。

□失ったことで器用になる
4ヶ月の入院生活でいろいろ考えた。仕事の事、生活の事。色々な事を発想していたから、退院後すぐに対応できたよ。農作業で使うトラクターは、ブレーキが踏めないと思っただから、退院してすぐに腕でも

ブレーキがかけられるように改造した。車はメーカーが用意出来る左足用に改造すれば、へっちゃらだなと思っただから、これもすぐに直したよ。何だろう、右足を失った事で、右足の感覚が左足に移ったというのか、不思議な事に、左足でスムーズにアクセルとブレーキが踏めるんだよね。器用になるんだよ。

□発想の転換
ジャガイモは儲かりはするけど、人を入れなきゃならんし、機械を増やしていったら車庫も増やしていかないとけないし……。だから既存のやつ以上に投資をかけたくなかったから、あまり品目を増やさなかった。10月末のビートの収穫は機械でやるから、1人で管理できるんだよね。人件費に食われて、何のために仕事をしているか分からなくなっちゃうからさあ。発想の転換だよな。怪我しなかつたら、一生懸命働くことばかり考えていたけど、自分の限界を見えちゃっているからさあ。他の人たちみたいに無理をかけっぱなししていると、年取った時のガタの度合いは俺のほうが少ないかもしれないね。

□育てているのは
今、育てているのは、ビート、てんさい、さとうダイコンを作ってる。ビートハウスで苗を作って、4月末から畑に移植するんだよね。収穫は10月末からだね。あとは小麦、キャベツ、ブロッコリー、かぼちゃ、スイートコーンを育ててる。畑の広さは、28ヘクタール。東京ドーム何個分とかは分からないね。

□農業はたいへん
作業は、一日中、歩かなきゃならんから、休み休みやってるよ。2時間歩き続けるっていうのは辛いからさあ。それと、立ち止まって、後ろを振り返る時に、コケるかコケないかっていう時があるんだよ。片手にキャベツ、片手に包丁を持つてる時があるからね、転倒しちゃったら、危なくてしょうがないんだよ。あとは収穫。採って、それをトラックに持つていって積み込んで、それを今度、おろす作業もあるでしょ。だから、大変だよ。



□安心してているよ
今までいろいろ履いてきたよ。今はレガートを履いてる。普通に違和感なく歩けるし、気にしないで早足でも歩けるところがいいよね。あと、チタンを使ってるっていうから、強度面で安心してるとだよ。

□絶えず、前を向いて
過去を悩むのが嫌いなさ。絶えず、前を見ていたい。今、これはどうしたらいいんだろう？って悩むのなら、10年先を考えて悩む方がいいね。義足も、10年後には頭で考えたら体の電気信号を読んで、もっと自由自在に動かせるんじゃないかとか、常にそんな事を考えてるよ。

右大腿部切断で大腿義足を使用

膝継手／NK-6 シンフォニー



Symphony interview

たまに自分の足を見て
生えてこないかなって
まだ1年しか
経ってないからさ、
それも当然だと
自分では思っているよ

□ ショックだった

去年の1月20日に事故に遭い、切断したんだよ。船を止めるウインチに巻き込まれたわけさ。病院にかつぎ込まれた時も意識があったね。その時は、何とか膝が残ってくれと思ったよ。でも、状態が悪かったから、膝上で切断…。手術が終わってから、一週間ぐらいはもう全然元気が無かったよ。ショックだった。

□ 海の仕事

年中、船に乗っていたよ。1年のうち、家に帰ってくるのは盆と正月だけだったな。それを何十年やってたんだ。仕事は、港湾を作ってたんだ。港を作る船に乗ってたわけ。退院してから、会社の人に、また乗らないか？って言われたんだけど、迷惑かけるのも悪いし、引退するって言ったんだ。もう、63歳だしさ。



□ 心配だから必ずロック

(セレクトタイプロック機構)

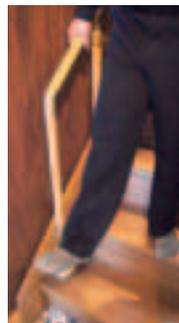
ロックする時は、雪かきが大変な時とか、足に力を入れなきゃいけない時かな。そういう時は心配だから、必ずロックしているよ。それと、凍った道かな。足の感覚が無いんだから。冬は滑り止め用に靴底に生ゴムを使った靴を履いたり工夫しているね。あ、そうそう階段の下りはロックするね。

□ まだ気持ちいがね・・・

義足を履いているとだいたいこのことが出来るから、常に義足を必ず着けるようにしている。家内には、昼間でも、義足外してればって言われるんだけど、宅急便が来る場合もあるし、誰か来た時に、松葉杖の姿で見られるのは抵抗あるんだわ。自分じゃ、ほら、まだ、身体的一部分を失ったって事に対して、完全に受け入れられてないんだよ。今でもたまに自分の足を見ては、足が生えてこないかなって思うし・・・ある程度、年数が経てば、変わるのかも知れないけど、まだ、1年しか経ってないからさ、それも当然だと自分では思っているよ。

□ 筋トレ

朝、起きたら、すぐ義足を履いて、そのまま履きっぱなしだよ。風呂出たら、今は筋トレをしているんだ。水色のゴムを使って、両方の太ももに負荷がかかるようにして、足を広げたり、上げたり下げたりして、足を鍛えているよ。あとは、定期的に福祉センターへ行つて、運動やストレッチもしてる。



□ 家内孝行

今年、キャンピングカーを買って、北海道と内地を2ヶ月ぐらいかけてぐるっと家内と2人で1周しようかなと思って、プランを練っているところだよ。今さらって感じもするけど、家内孝行しようかなって。家内にはたくさん迷惑かけたからさ、ましてや足も切断してしまったから余計にね。普段の生活でも気を使わせちゃってる部分があるからさ。2人で楽しめる事をしたんだ。

□ 努力は報われる

自分でやる気を持って、自分で行動しなかつたら、なんぼ、いい義足を着けても、ちょっと無理だと思っただわ。自分の方から義足へ慣れるようにして、なるべく常に履いて、歩いて、健常者に近付くように自分で努力したらさ、必ず、そういう努力は報われると思うんだわ、俺は。だから、片足が無くなったとしても、前向きにこう、うん、生きていけば、義足でもちゃんと自分の身体の一部になって、ついてくると思うんだわ。だから、絶対、くよくよしないよ。まあ、最初のうちはそういうのは誰でもあると思うけど、一生の長い付き合いになるわけだからさ、なるべく前向きに考えていっただ方が、僕はいと思う。

右大腿部切断で大腿義足を使用

膝継手/NK-6+Lシンフォニー

(セレクトタイプロック付)

足部 / フリーダムフット

(セネターVIS1000)



NK-6

NK-6 シンフォニー
インタビュー

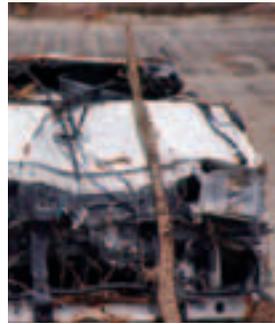
Symphony interview



二階にのぼって
洗濯物を
干すことができ
家事ができて
本当にうれしかった

□津波がきて
3月11日の東日本大震災のときは、車で逃げていたんですよ。後ろから波を受けて、車ごと民家に持ってかれて。そしてフロントガラスが割れて、そこから波で運ばれた木がお母さんの乗っていた助手席に入ってきて。波が引いたら、その木はお母さんの足を挟んだまま、動かなくなっていました。そして、次の波で木はもっていかれたけど、足はもう…。

□7時間以上
二回目の大きな波がきて、どろどろの海水から、民家に逃げました。そこにいた男性がベルトでお母さんの足を縛ってくれて、そして避難所まで送ってくれました。車から脱出して7時間以上はたったかな。県立病院に一番のりを入れて、すぐに対応してくれました。

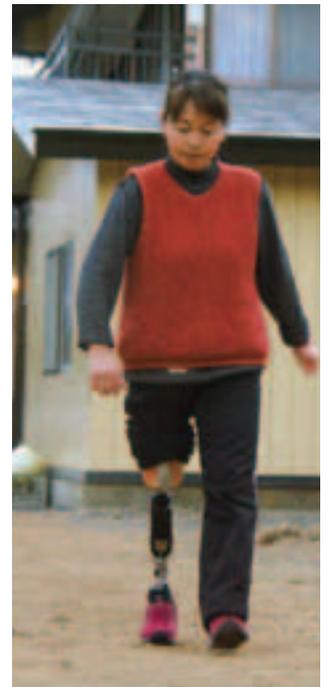


□何もできなくて
義足で歩けなかった頃、車いすに乗って家に戻ったんですよ。そして家の前に来たとき、何もできなくて、ただ座ってばかりいる…：ああ…って思ってしまった。それから一つ一つできるようになって、そしてだんだん歩けるようになったら、うれしくて。

□できることが増える
できることが増えるとうれしいですね。トイレ掃除もやってみようかって、できなかったことをやってみようって。いまでは家事はもう、何もかもやっています。

□洗濯物を干せたことが
2階に行く階段のところに手すりをつけたんですよ。そして手すりを使って上って、そしてベランダに出て、洗濯物を干す。この洗濯物を干せたことが一番うれしかったです。それまでお父さんにやってもらってたもんで、本当にうれしかったです。

□お父さん
何もかも大変だったね。まあ、しみじみ感じましたねえ。



□伝えたかった
足を落としてこんながんばる人は初めてだって、先生がびっくりしてたね。奇跡が起こればいいって。どんどん歩けるようになればいいなって。だから前向きに考えることができて、そしてリハビリの先生も良い人がついてくれてさあ。義肢装具士さんも、電話をかければすぐに駆けつけてくれるんですよ。いい人に恵まれたんですよ。本当に。誰かに聞いて欲しかった、誰かに伝えたかった。みなさんのおかげです。本当にありがたいです。

□歩きたいの一心
義足には抵抗はなかったです。足がないからしょうがないって。とにかく一人で歩きたい、歩きたいの一心でした。歩かないと、どこにもいけないって思ってた。

普段は漁に出て、家に帰れば、お母さんに任せっぱなしにしてたけど、こういう風になって、自分がやってみたら、家事は大変だって思いましたよ。今では家事をやってくれるし、こんなになってくれて助かりましたよ。寝たきりになったら、生きるのも面倒だよ…：正直、思ってしまったよ。



□温泉に
やってみたいことですか？旅行に行きたいですねえ。1年前に子供から還暦のお祝いでもらった旅行券があるから、温泉にでもいきたいですね。温泉でも入れば、また少しは良くなるんじゃないかなって。私のような義足を使う人でも、ゆっくりできる温泉を見つけないです。

右大腿部切断で大腿義足を使用
膝継手／NK16+Lシンフォニー
(セレクトタイプロック付)

